

病虫害防除技術情報第6号

令和元年 7月26日
三重県病虫害防除所

三重県内でクビアカツヤカミキリの発生が確認されました。

三重県北部のサクラの木でクビアカツヤカミキリの成虫が発見されたことが、三重県みどり共生推進課より7月24日付けで県ホームページにて公開されました。

特定外来生物であるクビアカツヤカミキリが県内で確認されたのは初めてで、7月22日までに雌雄あわせて計16頭が確認されています。現在のところ県内の果樹園での発生は確認されていませんが、発生の拡大が懸念されますので警戒をお願いします。

1. 対象作物： モモ、ウメ、スモモ、カキ等
2. 対象病虫害名： クビアカツヤカミキリ
3. 国内での発生状況

国内では平成24年に愛知県海部地域で初めて発見されて以来、東京都、栃木県、群馬県、埼玉県、愛知県、大阪府、奈良県、徳島県で発生が確認されています。

発生地では公園等のサクラで枯死する被害、また空き家の庭など放任のウメで被害が大きい傾向があります。また、一部の府県では果樹園のモモ、スモモ、ウメなどで被害が出ています。

4. 本種の特徴

- (1) 成虫は全体に光沢のある黒色で、赤い胸部が特徴です。また、体長は2.5～4cmで、長い触角(雌に比べ雄の触角が特に長い)が特徴です。
- (2) 幼虫が果樹の樹木の内部を摂食し、2～3年かけて成長し蛹を経て、6月中旬～8月上旬に成虫となり樹木の外へ出ます。
- (3) 幼虫が入り込んだ樹木からは、ひき肉状につながったフラス(糞と木くず)が排出されます。クビアカツヤカミキリに加害された樹木は内部が空洞となり、樹勢が低下して枯死する傾向があります。



ひき肉状のフラス



雄成虫

(写真提供 徳島県)

5. 防除対策

- (1) 成虫を発見した場合は、直ちに捕殺してください。特定外来生物法により、生きたまま持

ち運ぶことは違法とされています。

- (2) 被害樹は、株元から 1～2m 程度の高さまで 4mm 目合いのネットを巻き付けて、羽化した成虫が分散するのを防ぎます。この際、樹木とネットを密着させると食い破ってしまうため、ある程度余裕を持たせて巻いてください。
- (3) 樹木の被害が小さい場合は、薬剤を食入孔から樹幹に注入して樹木内部の幼虫を駆除します。駆除が遅れ幼虫が成長すると効果が劣ります。針金などで食入孔からフラスをかき出し(薬剤を樹木の内部まで浸透させるため)、食入孔にノズルを差し込んで薬剤を噴射してください。また被害が大きい樹木の付近の樹木を重点的に防除すると効果的です。
- (4) 被害が大きい樹木の場合、樹木内の幼虫を完全に駆除することが困難なため伐採します。伐採後も幼虫は木の中で生き続けるため、伐採した材は速やかに粉碎のうえ焼却してください。
- (5) 薬剤のうち散布剤は、成虫の駆除を目的とする殺虫剤です。成虫が活動する6～8月に、登録内容に従い、樹冠全面または樹幹部に散布してください。
- (6) 栽培園地内で上記の被害等を見つけた場合には、直ちに病虫害防除所(0598-42-6365)までご連絡ください。

散布剤

有効成分名 (薬剤名)	作物名	希釈 倍数	収穫前 使用日数	使用 回数	散布液量
マフルゾン25%水和剤 (アクセルフロアブル)	うめ	1000倍	前日まで	3回以内	200～700L/10a
アマトキム10%水溶剤 (アクタラ顆粒水溶剤)	もも	2000倍	前日まで	3回以内	200～700L/10a
	ネクタリン				
	おうとう	2000倍	前日まで	2回以内	200～700L/10a
DMTP30%乳剤※ (スプラサイドM)	小粒核果類	2000倍	7日前まで	2回以内	200～700L/10a
	もも	200倍	60日前まで	2回以内	100～180L/10a
DMTP36%水和剤 (スプラサイド水和剤)	うめ	1500倍	14日前まで	2回以内	200～700L/10a
	もも	1500倍	21日前まで	2回以内	200～700L/10a
	すもも	1500倍	14日前まで	2回以内	200～700L/10a
シラネアザラシ4.5%液剤 (テッパン液剤)	もも	2000倍	前日まで	2回以内	200～700L/10a
	すもも	2000倍	前日まで	2回以内	200～700L/10a
アセチルリド20%水溶剤 (モスピラン顆粒水溶剤)	小粒核果類	2000倍	前日まで	3回以内	200～700L/10a
	もも	2000倍	前日まで	3回以内	200～700L/10a

※樹幹部及び主枝に散布

食入孔から樹幹に注入

有効成分名 (薬剤名)	作物 名	希釈 液量	使用方法	収穫前 使用日数	使用 回数	使用量
フェンプロパトリン 0.020% (ロビンフッド)	うめ もも かき	—	樹幹・樹枝の食入孔に ノズルを差し込み噴射	前日まで	5回以内	—
スタイナーカボガサ剤 (バイオセーフ)	うめ もも	25L	木屑排出孔を中心に薬 液が滴るまで樹幹注入	(使用時期) 幼虫発生期	—	2500万頭 (約10g)

農薬に関する情報は、令和元年7月1日現在の登録内容に基づいて記載しています。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。